



Noh
OHYUJI NOH THEATRE

4.23 SAT

狂言 村上 湛 × 大槻 文藏
能 通小町 梅若万三郎



Kyotomachi

Kobunri

二〇二二年度大槻能楽堂自主公演能
能の魅力を探るシリーズ

大槻文藏

6.25 SAT

狂言 天野 文雄 × 大槻 文藏
能 三山 武富 康之



Sasumakami

撮影 国史堂



Mitsuyama

能の名曲六選

8.27 SAT

狂言 村上 湛 × 大槻 文藏
能 楊貴妃 浅井 文義



Yakushi

国立能楽堂提供



Yasushi

撮影 上杉遥

大槻能楽堂

〒540-0005 大阪市中央区上町A-7
TEL.06-6761-8055
【公式サイト】noh-kyogen.com

主催：公益財団法人大槻能楽堂

初めてご覧になる方にもわかりやすい解説文(英文解説)をご用意しています



第694回 **4月23日(土)** 13:30 開場
14:00 開演

第696回 **6月25日(土)** 13:30 開場
14:00 開演

第698回 **8月27日(土)** 13:30 開場
14:00 開演

対談 村上 湛 × 大槻 文蔵

狂言 昆布売

大名 善竹 忠重
昆布売 善竹 忠亮

今日は供をする家来がないので一人で出かけた大名(侍)は、通りがかりの小浜の昆布売を會して無理やり太刀持ちをさせ、主人のごとくふるまて御満悦。初めは従っていた昆布売だったが、ついに我慢できなくなる。

將軍家に献上されていたことから「召(めし)の昆布」と呼ばれる越前小浜の名産品。その売り声を平家節・小唄節・踊り節など中世の歌謡にのせて様々な謡、息の合った善竹忠重・忠亮親子のかけ合いが楽しい。

休憩

能 通小町

シテ 深草少将の怨霊 梅若万三郎
前ツレ 里女 浦田 保親
後ツレ 小野小町の霊 福王茂十郎
ワキ 僧

笛 杉 市和
小鼓 久田舜一郎
大鼓 河村 大

後見 赤松 禎友
青木 健一

地謡 大槻 文蔵
上田 拓司
山本 博通
上野 雄三
武富 康之
齊藤 信輔
大槻 裕一
梅若 志長

洛北の八瀬の里で夏の修行をする僧のもとへ、毎夜、木の実や薪を供えに通って来る不思議な女がいた。僧は、「市原野に住む姥」と名乗って消えた女の正体が小野小町だと気づき、菩提を申おうと市原野に出かける。再び僧の前に現れて受戒を乞う小町の背後から、深草少将の亡霊が現れて小町の成仏を妨げようとするが、僧に罪障懺悔を勧められて百夜通いのさまを見せる。

名手・三世梅若万三郎が深草少将(四位の少将)の一途な恋の悲哀と凄まじい妄執をいかに演ずるか、ツレの小野小町を演ずる浦田保親との顔合わせも嬉しい一曲。

対談 天野 文雄 × 大槻 文蔵

狂言 薩摩守

僧 茂山忠三郎
茶屋 善竹 隆司
船頭 善竹彌五郎

無銭飲食をした出家が本当に無一文だと知った茶屋の亭主は、かえって同情して、渡し舟に無賃で乗れる知恵を伝授する。秀句(=しゃれ)好きの船頭に「船賃は薩摩守」と言えばよいらしいのだが、さて成功するか。

その心は薩摩守=平忠度→タダノリ→只乗り。舟の作り物なしで船頭の棒と演技だけで舟を表すの見どころ。朗らかな五世茂山忠三郎の出家が二世善竹彌五郎・隆司親子を相手に愉快なやりとりを見せてくれるだろう。

休憩

能 三山

前シテ 里女 武富 康之
後シテ 桂子の霊 寺澤 幸祐
ツレ 桜子の霊 福王 知登
ワキ 良忍上人 福多 雅人
ワキツレ 從僧 是川 正彦

ワキツレ 從僧 是川 正彦
アイ 所の者 善竹 隆平
笛 野口 亮
小鼓 荒木 建作
大鼓 河村眞之介

後見 大槻 文蔵
上野 雄三

地謡 多久島利之
齊藤 信隆
赤松 禎友
山本 博通
山本 正人
齊藤 信輔
大槻 裕一
水田 雄悟

藏通念仏の良忍上人が布教のために訪れた大和国で三山の話を読み、その一つ、耳成山へ向かう。そこに現れた女が語ったのは、この山にまつわる妄執の物語だった。昔、香具山の膳公成という男が、耳成山の柱と畝傍山の桜子のもとに通ったが、男の気持ち若くは桜子のほうに傾いたので、柱子は池に身を投げて死んだ。

観世流では1985年に先代観世鏡之・横通萬里雄によって復曲され、観世流の正式な演目となった。武富康之と寺澤幸祐という同年代の二人が演ずる柱と桜の美しい「花争い」。春の夢のような趣きに仕上げられている。

対談 村上 湛 × 大槻 文蔵

狂言 二千石

主人 茂山七五三
太郎冠者 島田 洋海
後見 井口 竜也

無断欠勤の太郎冠者を叱ろうとした主人は、都見物の話を聞きながら許してやるが、太郎が得意げに都で流行っているという謡「二千石(じせんせき)」を披露した途端、大激怒して刀を抜いて振り上げた。

実は主人の先祖が八幡太郎義家の安倍貞任追討の折に謡って宇陀の庄を賜った大切な謡だった。絶体絶命の窮地を太郎冠者(島田洋海)は切り抜けられるのか。謡の由来の仕方語りで、二世茂山七五三の至芸を堪能したい。

休憩

能 楊貴妃 干之掛 台留

シテ 楊貴妃 浅井 文義
ワキ 方士 宝生 欣哉
アイ 蓬萊国の者 松本 薫

笛 松田 弘之
小鼓 大倉源次郎
大鼓 山本 寿弥

後見 大槻 文蔵
赤松 禎友
上野 雄三

地謡 片山九郎右衛門
上田 拓司
味方 玄
片山 伸吾
武富 康之
齊藤 信輔
大槻 裕一
上野 雄介

玄宗皇帝の命により、方士(神仙術士)は常世の国に楊貴妃の魂魄の在り処を探し出す。証拠として貴妃から聞いたのは、玄宗と交した七夕の夜の誓いだった。

名手・浅井文義のシテに、ワキは東京から宝生欣哉を迎え、地頭・十世片山九郎右衛門という盤石の配役で、春の雨を帯びた白い梨花のような楊貴妃の艶麗と憂鬱を描く。松田弘之(東京)の笛で観られるのも関西では貴重な機会で、序之舞の「序」の後に笛が高い調子から入って特殊な謡を吹く「干之掛」の小書(特殊演出)であればなおさらだ。その他、独り残された貴妃の姿が印象的な「台留」。

[石淵文忠]

入場料金 ※友の会：割引特典あり

席種	前売	当日
S席	6,500円	7,500円
A席	6,000円	7,000円
B席	5,500円	6,500円
学生(B席)	3,300円	4,300円
U-25 25歳以下(B席)	席数限定 1,100円	B席 2,100円 立ち見 800円

チケット発売日 ※当日券は開演の1時間前より販売

公演	友の会	一般
4/23 通小町	2/14	2/22
6/25 三山	4/15	4/25
8/27 楊貴妃	6/17	6/24

「大槻文蔵と読み解く 能の名曲六選」
6公演セット券 発売中(4/22まで)

チケットご予約・ご購入

- 大槻能楽堂ホームページ(発売日10:00~)
<https://noh-kyogen.com/ticket/>
- 大槻能楽堂 事務局(11:00~16:00 不定休)

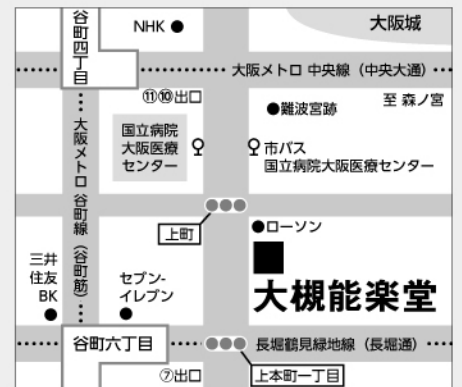
TEL 06-6761-8055

会場 大槻能楽堂

大阪市中央区上町A番7号

- 大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、⑩号出口を出て南へ約300m。
(⑩号出口にエレベーター有)
- または谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、⑦号出口を出て北へ約350m。
(⑦号出口にエレベーター有)
- 市バス「国立病院 大阪医療センター」下車南へすぐ。
※「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫」行き、「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き。

※駐車場はございません。
※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程等の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。お断り申し上げます。
※本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。



当公演の新型コロナウイルス感染症対策

出演者・スタッフの
衛生管理、感染予防の励行

施設内の消毒と換気の実施

ご来場の方向けに
非接触型検温器と消毒液
を完備

※マスク着用のご協力をお願いします。 ※会場でのご飲食はご遠慮ください。